

第2学年〇組 体育科学習指導案

令和5年11月1日(木) 第5校時 体育館
在籍児童数 男子〇名 女子〇名 合計〇名
所沢市立上新井小学校 教諭 〇〇 〇〇

1 単元名「変身の術！いろいろなものになりきろう」(表現リズム遊び・表現遊び)

2 運動の特性

(1) 一般的特性

○身近な題材の特徴を捉えてそのものになりきって全身の動きで表現したり、軽快なリズムの音楽に乗って踊ったりする楽しさに触れることのできる運動遊びである。

○友達と様々な動きを見付けて踊ったり、みんなで調子を合わせて踊ったりする楽しさに触れることのできる運動遊びである。

(2) 児童から見た特性

表現リズム遊びの楽しさや喜びを味わう要因	表現リズム遊びを遠ざける要因
<ul style="list-style-type: none">・リズムに乗って体を動かせたとき。・思ったことを動きで表現できたとき。・自分の動きを認められたとき。・友達と一緒に動きを合わせることができたとき。	<ul style="list-style-type: none">・リズムに乗ることができないとき。・動きが思いつかないとき。・自分の動きが認められなかったとき。・はずかしいとき。

3 児童の実態

(1) 知識及び技能

本学級の児童は1年時にリズム遊びを通して軽快なリズムに乗って踊る学習をしている。また、運動会の表現では、1年時にリズムダンス、2年時にエイサーを行い、音楽に合わせて体を大きく動かす学習をしている。音楽に乗って決まった動きで踊ることは、ほとんどの児童ができています。しかし、即興的に踊ることに関しては動きのバリエーションが少ないことが課題である。

身近な題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身で即興的に踊る表現遊びの学習は経験していない。

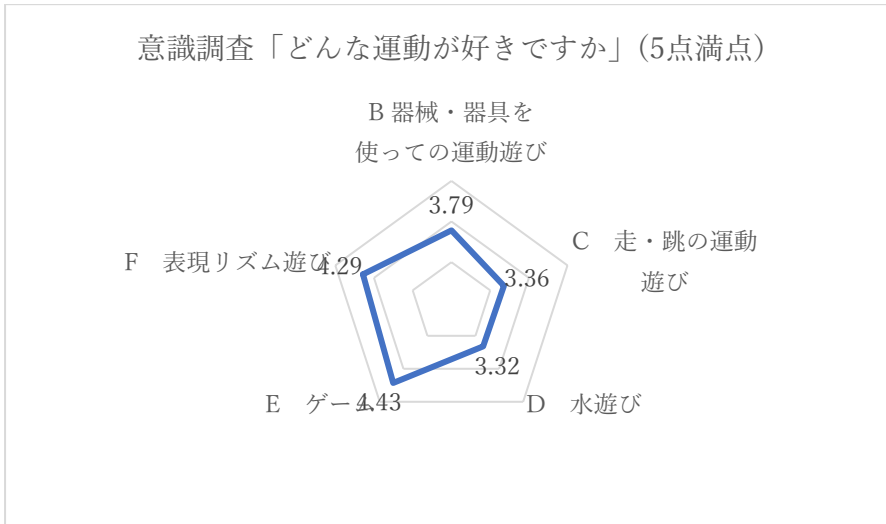
(2) 思考力、判断力、表現力等

身近な題材の特徴を捉えて踊ることは児童にとって初めての経験である。過去に経験がないことは想像することが難しい児童が多いため、本単元では、題材の特徴を捉えて踊ることが難しいと考えられる。軽快なリズムに乗って踊ることは1年時に経験している。しかし、踊り方の工夫については今まで獲得してきた動きのパターンが少ないことにより課題がある。

また、どうしたらうまくできるかを考え、自分のめあてを持って活動することや、動きのポイントなどを考えたり伝えあったりすることを苦手と感じている児童が比較的多い。学習カードでも、「楽しかった」「頑張った」など、感想レベルの内容が多く、思考を言葉に表すことができていない児童が多い。理由として、思考を深めたり伝えたりする活動の経験が乏しいことが考えられる。

(3) 学びに向かう力，人間性等

診断的評価から体育では精一杯運動をしていると感じている児童，体育が楽しいと感じている児童が多いことがわかった。また，日頃からきまりやルールを守って活動することもできている。加えて，児童の意識調査から，表現リズム遊びが好きな児童も多いことがわかった。しかし，安全面の配慮では，教師が声をかけるまで気付かない児童も多い。



診断的評価(5点満点) 内容	数値
体育では，みんなが楽しく勉強できる。	4.59
体育では，精一杯運動することができる。	4.78
体育をしているとき，どうしたら運動がうまくできるかを考えながら勉強している。	3.85
体育で運動するとき，自分のめあてをもって勉強している。	4.0

4 教師の指導観

(1) 知識及び技能

身近な題材の特徴を捉えて全身で即興的に踊ることを中心に学習を進めていく。その中で跳ぶ，回る，ねじる，這う，素早く走るなどの動きを経験させたい。そのために，様々な動物などに変身する活動を取り入れる。また，友達のよい動きを見たり真似したりすることで多様な動きを獲得できるようにする。

(2) 思考力，判断力，表現力等

初めに身近な題材や動きの例示をすることで，自分で動きを考えたり題材を探したりすることをしやすくする。また，活動の中でよい動きの児童を取り上げることで，どんな動きがあるのかを考えたり，なりきる題材を考えることや友達に伝えたりすることができるようにする。

ペア活動やグループ活動を取り入れ，友達の動きを真似することなどを通じてよい動きを考えたり伝えあったりすることができるようにする。

(3) 学びに向かう力，人間性等

毎時間決まったリズム遊びを取り入れて，体を動かすことへの心理的抵抗や不安感を軽減させるようにする。

主となる活動では，様々な題材に変身し，ミッションに挑むという物語を取り入れることで児童が楽しみながらいろいろな動きの経験ができるようにする。安全面については，学習に夢中になるあまり周りが見えなくなってしまうことが予想されるため，活動のルールを明確化して指導する。

5 研究主題との関わり

素直で元気，一生懸命に取り組む，知・徳・体のバランスのとれた児童の育成

～体育科・道徳科における指導技術の向上～

(1) 研究テーマ設定の理由

埼玉県の小学校体育科の課題として「運動が好き」「体育の授業が楽しい」と感じている児童の割合が少ないことが挙げられる。運動技能についても二極化が進み，自ら進んで運動に取り組もうとする児童の割合が減少している点も考えられる。本校においても，上記の傾向が当てはまる。令和3・4年度は埼玉県体力課題解決研究校の委嘱を受け，児童生徒の総合的な体力の向上を目指して，授業改善及び家庭との連携を視点に研究を推進してきた。今年度は第54回小学校体育授業研究会の委嘱を受けている為，引き続き指導技術を高め，自信をもって体育科の授業が展開できるよう本研究主題を設定した。

(2) 研究の仮説と手立て

仮説① 学年や学級の実態を把握し，それに応じた授業づくりを実施することで，児童の総合的な体力の向上を図れるのではないか。

手立て1 児童が安心して取り組めるよう学習過程を工夫する。

手立て2 学びを共有する場と方法を明確にする。

手立て3 学習の過程を可視化する。

仮説② 3つの資質・能力を伸ばすための言葉かけの質を高めれば，運動好きな児童を育成できるのではないか。

手立て1 教師からの言葉かけや，友達からの声かけを充実させる。

手立て2 ねらいにあった動きをさせるための発問や声かけを工夫する。

6 単元の目標

- (1) 表現遊びの行い方を知るとともに，身近な題材の特徴を捉え，そのものになりきって全身で即興的に踊ることができるようにする。 <知識及び技能>
- (2) 身近な題材の特徴を捉えて踊ったり，軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 <思考力，判断力，表現力等>
- (3) 表現遊びに進んで取り組み，誰とでも仲よく踊ったり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。 <学びに向かう力，人間性等>

7 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①表現リズム遊びの行い方について、言ったり、実際に動いたりしている。</p> <p>②身近な題材になりきって全身で即興的に踊ることができ</p> <p>る。</p>	<p>①身近な題材の特徴を捉え、踊り方を工夫している。</p> <p>②友達のよい動きを見付けて真似をしたり、伝えたりしている。</p>	<p>①身近な題材になりきったり、リズムに乗って踊ったりする運動遊びに進んで取り組もうとしている。</p> <p>②誰とでも仲良く踊ったり、場の安全に気を付けたりしながら取り組もうとしている。</p>

8 単元の計画

(1) 領域の取り上げ方

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
表現リズム遊び	10時間	10時間				
表現運動			10時間	10時間	8時間	10時間

(2) 領域の内容

学年	内容	目指す動き
第1学年 第2学年	表現リズム遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材の特徴を捉え、全身で踊ること。 ・軽快なリズムに乗って踊ること。
第3学年 第4学年	表現運動	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ること。 ・軽快なリズムに乗って全身で踊ること。
第5学年 第6学年	表現運動	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな題材から主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり簡単なひとまとまりの動きで踊ったりすること。 ・音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ること。

(3) 指導と評価の計画(5時間扱い) 4 / 5時

時間	1	2	3	④(本時)	5	
ねらい	いろいろな動き方を知り、試してみよう。	あったらいいなという動きを考えよう。	変身していろいろな動きをしてみよう。	場面に合わせていろいろなものに変身しよう。	修行の成果を見せ合おう。	
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> 単元のねらい 即興的なリズム遊び 学習カードの使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 即興的なリズム遊び 学習計画の説明 身近な題材になりきって全身で踊ること 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な題材になりきって工夫して踊ること よい動きの共有と友達への伝え方 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な題材になりきって即興的に全身で踊ること(急変する場面) 	<ul style="list-style-type: none"> 即興的な踊りの発表 単元を通した学習成果の確かめ 	
学習過程	1 集合・整列・挨拶・健康観察	1 集合・整列・挨拶・健康観察				
	2 上っ子体操	2 上っ子体操				
評価計画	3 本時のねらい	4 本時のねらい	4 前時の振り返り	4 前時の振り返り	4 前時の振り返り	
	4 リズム遊び	5 様々な題材になって踊る	5 本時のねらい	5 本時のねらい	5 本時のねらい	
	5 振り返り	6 自分たちで考えた題材になって踊る	6 いろいろな動きを考えて踊る	6 いろいろな動きを考えて踊る	6 友達と動きを見合う	
	6 整理運動	7 振り返り・まとめ	7 友達の動きを見合う	7 友達の動きを見合う	7 友達のよかった動きを伝えあう	
	7 健康観察・挨拶	8 整理運動	8 友達の動きを取り入れて踊る	8 友達の動きを取り入れて踊る	8 振り返り・まとめ	
		9 健康観察・次時の予告・挨拶	9 振り返り・まとめ	9 振り返り・まとめ	9 整理運動	
			10 整理運動	10 整理運動	10 健康観察・挨拶	
			11 健康観察・次時の予告・挨拶	11 健康観察・次時の予告・挨拶		
	知・技	①			②	②
	思・判・表		①	②		
態	②				①	
方法	観察・学習カード	観察・学習カード	観察・学習カード	観察・学習カード	観察・学習カード	
場面	4	5・6・7	6	6・7	6・7	

9 本時の学習と指導(4/5時)

(1) ねらい 身近な題材になり切って全身で即興的に踊ることができる。

〈知識・技能〉

(2) 準備 ・太鼓 ・ピットナル ・学習カード ・筆記用具 ・アンプ ・CD ・パソコン
・プロジェクター

(3) 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点(○指導◆評価規準)
導入 10分	1 集合・整列・挨拶・健康観察をする。 2 上っ子体操をする。 3 リズム遊びをする。	○服装や児童の体調を観察し、安全に楽しく学習ができる状態か確認する。 ○体と気持ちがほぐれ、楽しみながら体を動かせるように声かけをする。
展開 30分	4 前時の振り返り、学習の見通しを立てる。	○前時の活動を振り返り変化のある動きを確認し、本時のメイン活動である場面の急変を意識させる。 ○前時までに出てきた変身するものを示しておく。
	5 本時のねらいを確認する。 場面に合わせていろいろなものに変身しよう。	
	6 いろいろな動きを考えて踊る。 ・出来事カード(急変する場面)で出た内容をいろいろなものに変身して表す。	○児童が何に変身したかを聞き,全体に伝えることで色々な動き方や変身するものがあることに気付ける言葉かけをする。
	7 友達の動きを見合う。 8 友達の動きを取り入れて踊る。	◆身近な題材になり切って全身で即興的に踊っている。 (観察・学習カード)【知識・技能】
	△努力を要すると判断される状況(C)の児童への指導の手立て ・どのように動いたらよいかわからない児童には友達や基本的な動きの例を一緒に確認して、真似するよう言葉かけをする。 ◎十分満足できると判断される状況(A)の児童の具体的な姿 ・場面の变化に合わせた題材になりきり、動きを考えて即興的に踊っている。	○よい動きを見つけたらほめる言葉かけをする。
終末 5分	9 振り返り・まとめをする。 10 整理運動をする。 11 健康観察・次時の予告・挨拶をする。	○本時のねらいに沿った振り返りが行えるようにする。 ○児童の様子を観察し、健康状態を確認する。 ○元気よく挨拶をして授業を終えられるようにする。

10 学習カード (次頁参照)

へんしんのじゅつ！いろいろなものになりきろう

2年 組 ばん

①いろいろなうごき方をしり、ためしてみよう。(月 日)

④ばめんにあわせていろいろなものにへんしんしよう。(月 日)

楽しくできたかな? ◎・○・△			
あげたり さげたり		言うこといっしょ	
まねっこキング		ミラーごっこ	
お天気じゃんけん		まねっこダンス	

お気に入りのじゅつ	のじゅつ
どんなときにつかう?	

②あつたらいいなといううごきを考えよう。(月 日)

⑤しゅぎょうのせいかを見せあおう。(月 日)

お気に入りのじゅつ	のじゅつ
どんなときにつかう?	

ふりかえり

③へんしんしていろいろなうごきをしてみよう。(月 日)

★みにつけたじゅつ(どんでんふやしていこう)

友だちのすてきなじゅつ	のじゅつ
どんなときにつかう?	

へび	うさぎ	